

## JIFASと環境農業新聞社が業務提携

魚介類+野菜 シャッター通り解消への道  
(大店法がもたらした商店街の悲劇)

1973年10月1日に制定され翌1974年3月1日に施行された、「消費者の利益の保護に配慮しつつ、大規模小売店舗の事業活動を調整することにより、その周辺の中小小売業者の事業活動の機会を適正に保護し、小売業の正常な発展を図ることを目的」とした法律。……結果として小規模小売店は通称「シャッター通り」と言われる現状を生んだのである。

JIFASは、商店街のシャッター通り化の有効な対策の一環として、その解消に向けて「小規模循環式陸上養殖システム」の研究開発を継続してきました。

この度、農業分野に豊富な情報を持つ「環境農業新聞社(代表取締役 成瀬一夫)」と業務提携契約を締結することにより、「魚介類+野菜」を基本に、シャッター通りと言われている商店街に展開していくプロジェクトがスタートします。

現在、シャッター通りといわれる商店街は全国に20万か所以上あると言われています。衰退する商店街を活性化することは、地域貢献を目的とするJIFASにとって、大変やりがいのあることです。

### 成瀬一夫氏の略歴

昭和23年生まれ。北海道足寄町出身。昭和46年3月専修大学法学部卒。昭和46年4月(株)新農林社入社。同社取締役編集局次長、事業本部長歴任後(株)先端技術情報センター取締役社長就任。平成14年2月環境農業新聞社設立、現在に至る。NPO法人元気農業開発機構常務理事兼幹事長。



- ・ **編集綱領** 環境と農林水産技術の重要性を認識し、消費者に安心、安全な提供できる農林水産物生産に貢献できる新技術情報、研究開発情報等を提供。また、「儲かる農林水産業」の実現を提唱し、時代をリードできる新聞づくりを目指し、建設的な評論を掲載して国家の発展に寄与する。
- ・ **特色** 農林水産省、通産省、国会担当記者約30年の経験と全国各地取材した経験をもとに新聞発行の傍ら環境農業セミナー、異業種交流、朝市夕市等を開催賛助会員制度を設け、あらゆる事項の相談、紹介等を行っている。論説委員に元大蔵省、元農水省、元通産省のOBや大学名誉教授の面々と相談役に元毎日新聞社OBがいる。

【所属記者クラブ等】農林水産技術クラブ、農政ジャーナリストの会